

海外経済

		7月	8月
世界経済		<p>世界の景気は、弱い回復が続いているものの、底堅さもみられる。</p> <p>先行きについては、当面、弱い回復が続くものの、次第に底堅さを増すことが期待される。ただし、欧州政府債務問題が引き続き景気の下振れリスクとなっている。また、アメリカの政策動向による影響や中国経済の先行き等にも留意する必要がある。</p>	(変更なし)
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は緩やかな回復傾向となっている。</p> <p>先行きについては、緩やかな回復傾向で推移すると見込まれる。ただし、財政問題への対応による影響等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
アジア地域	中国	<p>中国では、景気の拡大テンポは依然緩やかなものとなっており、一部に弱めの動きもみられる。</p> <p>先行きについては、当面、拡大テンポは緩やかなものとどまると見込まれる。また、輸出や金融市場をめぐる動向等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
	韓国、台湾	<p>韓国、台湾では、景気は足踏み状態となっている。</p> <p>先行きについては、<u>当面、足踏み状態が続くものの、次第に持ち直していくことが期待される。</u>また、輸出の動向に留意する必要がある。</p>	<p>韓国、台湾では、景気は<u>このところ持ち直しの動きがみられる。</u></p> <p>先行きについては、次第に持ち直していくことが期待される。また、輸出の動向に留意する必要がある。</p>
	インド	<p>インドでは、景気は緩やかに減速している。</p> <p>先行きについては、当面、低めの成長となることが見込まれる。また、物価上昇の動向に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
ヨーロッパ地域		<p>ヨーロッパ地域では、<u>景気は一部に下げ止まりの兆しもみられるが、総じて弱い動きとなっている。</u>ドイツでは、<u>足踏み状態となっているものの、一部に底堅さもみられる。</u></p> <p>先行きについては、<u>当面、弱い動きとなるものの、次第に底入れに向かうことが期待される。</u>ただし、政府債務問題等による金融面への影響を通じ、景気が下振れするリスクがある。また、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。</p>	<p>ヨーロッパ地域では、<u>景気は下げ止まりの兆しがみられる。</u>ドイツ及び英国では、<u>持ち直しの動きがみられる。</u></p> <p>先行きについては、<u>底入れに向かうことが期待される。</u>ただし、政府債務問題等による金融面への影響を通じ、景気が下振れするリスクがある。また、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。</p>